別記様式第1号（第4条関係）

年　　月　　日

北見市長　　　　　様

住所

（名称及び代表者氏名）

氏名

特定施設設置・使用届出書

北見市公害防止条例第14条第　項の規定により、関係書類を添えて、次のとおり届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 工場又は事業場等の名称 |  |
| 工場又は事業場等の所在地 |  |
| 設立年月日 | 年　　月　　日 | 業種 |  |
| 主要製品名 |  | 従業員数 |  |
| 操業期間 | 通年・　　月　　日から　　月　　日まで |
| 作業時間 | 　　時　　分から　　時　　分まで（　　交代） |
| 用途地域 |  |
| 特定施設の種類 |  | 農地転用許可 | 年　月　日 |
| 設置（予定）年月日 | 年　 月　 日 | 建築確認 | 年　月　日 |
| 特定施設の概要 | 別紙１のとおり | 敷地面積 | ㎡ |
| 周囲の状況 | 別紙２のとおり | 建築面積 | ㎡ |
| 建物の配置 | 別紙３のとおり | 建物の構造 |  |
| 特定施設の配置 | 別紙４のとおり | へい等の構造 |  |
| 契約電力量 | KWｈ／月 | 自家発電力量 | KWｈ／月 |
| 産業廃棄物の種類 |  | 産業廃棄物の処理方法 |  |
| 工場又は事業場等の責任者 | 役職　　　　　　　　　　氏名 |
| 受付印 | 受付番号 | ※　事務処理欄 |
| ※ | ※ |  |

備考

１　※印の欄は、記入しないこと。

２　「用途地域」とは、都市計画法第８条第１項第１号に規定する用途地域をいう。

３　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面等やむを得ないものを除き日本産業規格Ａ４とすること。

別紙１

（ばい煙発生施設の場合）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設の構造 | 工場又は事業場等の施設番号 |  |  |
| 名称・型式 |  |  |
| 使用開始（予定）　　　　　年　 　月　 　日 | 年　月　日 | 年　月　日 |
| 規模 | 火格子面積（㎡） |  |  |
| 羽口面断面積（㎡） |  |  |
| 燃料の燃焼量（㎏／ｈ）（ι／ｈ） | 最大 | 最大 |
| 原材料の処理能力（㎏／ｈ） |  |  |
| 電流容量（ＫＡ）ポンプの動力（ＫＷ） |  |  |
| 使用の方法 | 使用状況 | 使用時間 | 時～時時間／日 | 時～時時間／日 |
| 使用回数等 | 回／日日／月 | 回／日日／月 |
| 季節変動 |  |  |
| 原材料 | 種類 |  |  |
| 使用割合 |  |  |
| １日の使用量（ｔ／日） |  |  |
| 燃料 | 種類 |  |  |
| 成分割合（％） | 灰分 | 硫黄分 | 灰分 | 硫黄分 |
| 比重・空気比 | 比重 | 空気比 | 比重 | 空気比 |
| 発熱量（Ｋcal／㎏） |  |  |
| 通常の使用量（㎏／ｈ）（ι／ｈ） |  |  |
| 混焼割合 |  |  |
| ばい煙量、硫黄酸化物 | 最大　Ｎ㎥／ｈ | 最大　Ｎ㎥／ｈ |
| 処理の方法 | 工場又は事業場等の処理施設の番号 |  |  |
| 種類、名称、型式 |  |  |
| ばい煙の種類 |  |  |
| ばい煙の濃度 | 処理前（ＰＰｍ　㎎／㎥） |  |  |
| 処理後（ＰＰｍ　㎎／㎥） |  |  |
| 補集効率（％） |  |  |
| 排出ガス量（Ｎ㎥／ｈ） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 排出ガス速度（ｍ／Ｓ） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 排出ガス温度（℃） |  |  |
| 煙突、フードの大きさ（ｍ） | 高さ　ｍ頂口径　ｍ | 高さ　ｍ頂口径　ｍ |
| 補正された排出口の高さ（ｍ） | ｍ | ｍ |
| ボイラー技士氏名 |  |  |
| 排出基準（ｑ）と排出量（ｑ′）の対比 | ｑ　　ｑ′ | ｑ　　ｑ′ |
| 参考事項 |  |  |

備考

１　「ばい煙発生施設」とは、別表第１の１ばい煙発生施設に掲げる施設をいう。

２　燃料中の成分割合（％）は、重量比％又は容量比％の別を記載のこと。

３　発熱量（Ｋcal／㎏）は、高位（総）発熱量又は低位発熱量の別を記載のこと。

４　ばい煙の濃度は、乾ガス中の濃度とすること。

（粉じん発生施設の場合）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設の構造 | 工場又は事業場等の施設番号 |  |
| 名称・型式 |  |
| 使用開始（予定）年月日 |  |
| 面積（㎡） |  |
| 使用状況 | 使用時間、使用回数等 | 時～　時　時間／日回／日　日／月 | 時～　時　時間／日回／日　日／月 |
| 季節変動 |  |
| 原材料の種類 |  |
| 原材料の処理量（ｔ／月） |  |
| 処理の方法 | 集じん機 | 種類、型式 |  |
| 集じん効率（％） |  |
| 送風機の原動機出力（kw） |  |
| 散水装置 | 種類、型式 |  |
| 装置の能力（㎥／ｈ） |  |
| 処理量当たりの散水量（㎥／ｔ） |  |
| その他の方法 |  |
| 参考事項 |

備考

１　「粉じん発生施設」とは、別表第１の２粉じん発生施設に掲げる施設をいう。

２　その他の方法の欄には、防じんカバーの設置状況など防じん方法を記載のこと。

（騒音発生施設の場合）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設の種類名称 | 型式 | 公称能力又は原動機定格出力 | 台数 | 使用（予定）年月日 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 騒音の防止の方法 |  |
| 屋外作業の状況 |  |

備考

１　「騒音発生施設」とは、別表第１の３騒音発生施設に掲げる施設をいう。

２　「騒音の防止の方法」の欄には、消音器、つり基礎遮音へい等の騒音の防止措置を記入すること。

３　「屋外作業の状況」の欄には、騒音の発生する屋外での作業の方法作業時間等について記入すること。

別紙２

周囲の状況

|  |
| --- |
| 工場又は事業場等の周囲の状況図 |

備考

１　工場又は事業場等の敷地境界から100メートル以内の状況図とすること。

２　学校、病院、保育所、診療所、図書館、老人ホーム等は、その表示をすること。

３　適当な図面があれば、それによることができる。

別紙３

建物の配置

|  |
| --- |
| 建物の配置図 |

備考

１　建物内の施設の配置を作業上別又は建物別に記入すること。

２　適当な図面があれば、それによることができる。

別紙４

特定施設の配置

|  |
| --- |
| 特定施設の配置図 |

備考

１　建物内の施設の配置を作業場別又は建物別に記入すること。

２　適当な図面があれば、それによることができる。